



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 札

上場会社名 健康コーポレーション株式会社

コード番号 2928 URL <http://www.kenkoucorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 瀬戸 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 香西 哲雄

TEL 03-5337-1337

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,157	5.6	△670	—	△394	—	1,452	—
25年3月期第2四半期	8,671	26.9	△498	—	△426	—	△322	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,451百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △262百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	47.06	—
25年3月期第2四半期	△10.43	—

(注) 当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,905	—	3,902	—	—	23.1
25年3月期	11,469	—	2,652	—	—	21.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,901百万円 25年3月期 2,494百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1.35	1.35
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.82 ～8.52	6.82 ～8.52

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期の配当予想に関する詳細につきましては、本日別途公表いたしました「配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	21,361	19.7	1,262	51.7	1,168	24.1	2,492	620.0	80.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期(通期)の業績予想に関する詳細につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
日本リント化粧品(株)、(株)アイデア  
新規 4社 (社名) ターナショナル、(株)クリアベルデ、(株)馬里邑、除外 1社 (社名) (株)弘乳舎

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	30,859,000 株	25年3月期	30,859,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	30,859,000 株	25年3月期2Q	30,859,000 株

当社は平成24年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）における我が国経済は、経済政策や金融政策を背景に、円安・株高が消費マインドへ影響し、個人消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかに景気回復の兆しが見られました。

このような経営環境の下、当社グループは、成長事業への投資と当社の最大の強みである広告宣伝を活かした販売支援によって成長が見込まれる事業領域へのグループ拡大を推進しました。

急成長中のフィットネス事業「RIZAP（ライザップ）」においては、銀座店や心齋橋店など主要都市への大型店舗の出店が続き、会員数・売上ともに順調に業績を伸ばしております。M&A戦略におきましては、株式取得により日本リレント化粧品株式会社、株式会社アイデアインターナショナル（JASDAQ：3140）、株式会社馬里邑の3社を連結子会社化し、株式会社弘乳舎を売却する戦略的グループ再編を行い、顧客基盤の拡大や販売ルートの相互活用、当社による販売支援といった事業活性化の具体的施策によるシナジーの最大化を重要課題と位置付け、業績拡大に取り組んでまいりました。

当社の通販事業におきましては、第1四半期に続き新規顧客獲得のための積極的な広告宣伝活動を当第2四半期においても実施し、また、「RIZAP（ライザップ）」の新規出店に伴い当社の販売支援である広告宣伝活動も積極的に展開しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,157百万円（前第2四半期連結累計期間は8,671百万円）、営業損益△670百万円（前第2四半期連結累計期間は△498百万円）、経常損益△394百万円（前第2四半期連結累計期間は△426百万円）、子会社売却益の計上により四半期純損益は1,452百万円（前第2四半期連結累計期間は△322百万円）となりました。

セグメント別の事業概況は、次のとおりであります。

#### (美容・健康関連事業)

美容・健康関連事業は大きく分けて「美容関連分野」と「健康食品分野」になり、美容関連分野は当社を中心に、株式会社ジャパングヤルズ、株式会社アスティ、グローバルメディカル研究所株式会社、株式会社JG Beauty及び日本リレント化粧品株式会社が事業を行っており、健康食品分野は当社と株式会社アスティを中心に事業を行っております。また、エムシーツー株式会社が美容関連・健康食品両分野においてコールセンター事業による販売支援活動を行っております。

この分野における当社通販事業におきましては、「ESTENAD（エステナード）」シリーズ及び「どろ豆乳石鹸 だろあわわ」で新規顧客の獲得が伸び悩んだことから、定期コースのリピート購入による売上が前年同期比を下回りましたが、当社の強みである広告宣伝ノウハウを活用したグループ各社への販売支援による広告収入は順調に推移し、グループ内シナジーの効果が見られております。

美容関連分野におけるグループ会社の事業につきましては、株式会社ジャパングヤルズ及び株式会社JG Beautyは、大容量美容液フェイスマスクにおいて新規参入企業の増加に伴い、市場の競争が激化しており、売上高は前年同期比で減収となりました。グローバルメディカル研究所株式会社は、「RIZAP（ライザップ）」の競合店など新規参入企業が見受けられるようになったものの、依然として全国主要都市への新規出店や積極的な広告宣伝活動により新規顧客の獲得が好調に推移し、売上も伸びております。日本リレント化粧品株式会社は、アンチエイジング化粧品をはじめ、中高年層に安定した顧客を有しており、売上高は前年同期並みとなりました。

健康食品分野におきましては、株式会社アスティの機能別健康補助食品が、主要販路であるドラッ

グストア等において、各社のプライベートブランド商品の取扱量が増加していることから競争が激化しており、売上高は前年同期比で減収となりました。

この結果、美容・健康関連事業での売上高は7,074百万円（前第2四半期連結累計期間は6,425百万円）、営業損益は△459百万円（前第2四半期連結累計期間は△441百万円）となりました。

#### (アパレル関連事業)

アパレル関連事業は、マタニティウェアや出産内祝いギフト等を販売する株式会社エンジェリーベが事業を行っております。なお、平成25年9月30日付で連結子会社となった株式会社馬里邑はアパレル関連事業に属しておりますが、当第2四半期連結累計期間に係る業績は、貸借対照表のみ計上しており、損益計算書については第3四半期より計上いたします。

当第2四半期連結累計期間におきましては、店舗販売事業においては一部店舗においてカフェ併設型の店舗リニューアルを行うなど、顧客利便性の向上に努めましたが、メインとなる通販事業において夏季セールの販売が計画値を下回ったこと等が影響し大幅な減収減益となりました。

この結果、アパレル関連事業の売上高は916百万円（前第2四半期連結累計期間は1,051百万円）、営業損益は△167百万円（前第2四半期連結累計期間は50百万円）となりました。

このような状況を踏まえ今夏より、広告宣伝活動による新規顧客獲得を健康コーポレーション株式会社が担っており、その結果、エンジェリーベの10月の月次の業績は速報ベースではありますが、売上高200百万円台を回復いたしました。

#### (住関連ライフスタイル事業)

住関連ライフスタイル事業は住関連ライフスタイル商品の企画・開発及び販売を行う株式会社アイデアインターナショナルが事業を行っております。

住関連ライフスタイル事業に係る業績は、株式会社アイデアインターナショナルの株式取得日が平成25年9月25日であったため、当第2四半期連結累計期間に係る業績は、貸借対照表のみ計上しており、損益計算書については第3四半期より計上いたします。

なお、食品関連事業は平成25年9月9日付で、株式会社弘乳舎の株式を譲渡したことに伴い、株式会社弘乳舎は連結子会社でなくなったため、当第2四半期連結会計期間において食品関連事業から撤退いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて57.1%増加し、11,763百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が1,508百万円、商品及び製品が1,006百万円、短期貸付金が1,025百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて29.2%増加し、5,142百万円となりました。これは主として、繰延税金資産が654百万円、のれんが669百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて47.4%増加し、16,905百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて73.7%増加し、9,606百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が605百万円、未払金が1,257百万円、短期借入金が1,306百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し、3,396百万円となりました。

この結果、総負債は、前連結会計年度末に比べて47.5%増加し、13,003百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて47.1%増加し、3,902百万円となりました。これは主として、当期純利益を計上したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は1,743百万円（前連結会計年度末に比べて269百万円減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の減少は307百万円（前年同四半期連結累計期間は686百万円の減少）となりました。

主な内訳として、増加要因が税金等調整前四半期純利益693百万円、その他1,630百万円であり、減少要因が子会社株式売却益の計上1,129百万円、売上債権の増加額862百万円、法人税等の支払額500百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は608百万円（前年同四半期連結累計期間は432百万円の減少）となりました。

主な内訳としては、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による2,003百万円の収入、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による683百万円の支出及び貸付による1,033百万円の支出並びに有形固定資産の取得による378百万円の支出であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の増加は643百万円（前年同四半期連結累計期間は152百万円の増加）となりました。

主な要因は、長期借入れによる収入1,798百万円、長期借入金の返済による支出1,307百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期（通期）の連結業績予想につきましては、本日別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、平成25年8月1日付で株式取得により新たに子会社化した日本リレント化粧品株式会社、平成25年9月25日付で株式取得により新たに子会社化した株式会社アイデアインターナショナル及び平成25年9月30日付で株式取得により新たに子会社化した株式会社馬里邑が当社の特定子会社に該当することとなりました。

また、平成25年9月9日付で株式譲渡により、株式会社弘乳舎は当社の連結子会社でなくなったため、当社の特定子会社には該当いたしません。

この結果、平成25年9月30日現在では、当社グループは、当社及び子会社14社（株式会社アイデアインターナショナルの子会社1社を含む）により構成されることとなりました。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,437,219	1,984,738
受取手形及び売掛金	3,081,841	4,590,592
商品及び製品	1,399,351	2,406,253
仕掛品	10,124	77,014
原材料及び貯蔵品	321,698	297,848
その他	770,157	2,826,414
貸倒引当金	△530,189	△419,465
流動資産合計	7,490,203	11,763,396
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,019,999	81,244
その他(純額)	1,269,011	1,591,566
有形固定資産合計	2,289,011	1,672,810
無形固定資産		
のれん	1,130,385	1,800,011
その他	56,369	224,896
無形固定資産合計	1,186,754	2,024,907
投資その他の資産		
投資有価証券	24,076	67,277
その他	490,267	1,390,239
貸倒引当金	△10,996	△12,729
投資その他の資産合計	503,347	1,444,787
固定資産合計	3,979,113	5,142,505
資産合計	11,469,316	16,905,902



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	833,804	1,439,528
未払金	487,917	1,745,155
短期借入金	349,389	1,655,471
1年内返済予定の長期借入金	1,936,092	1,820,467
未払法人税等	484,893	60,806
賞与引当金	68,813	49,669
返品調整引当金	20,269	116,487
環境安全対策引当金	24,607	—
その他	1,326,183	2,719,304
流動負債合計	5,531,972	9,606,889
固定負債		
社債	648,500	559,000
長期借入金	2,057,144	2,235,814
役員退職慰労引当金	150,561	4,158
退職給付引当金	135,939	35,054
その他	292,199	562,095
固定負債合計	3,284,344	3,396,122
負債合計	8,816,316	13,003,012
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	189,250	189,250
利益剰余金	2,204,113	3,611,862
株主資本合計	2,493,364	3,901,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,189	1,777
その他の包括利益累計額合計	1,189	1,777
少数株主持分	158,445	—
純資産合計	2,652,999	3,902,890
負債純資産合計	11,469,316	16,905,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,671,038	9,157,916
売上原価	3,910,450	4,025,912
売上総利益	4,760,588	5,132,004
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,687,097	3,081,445
その他	2,571,592	2,720,834
販売費及び一般管理費合計	5,258,690	5,802,280
営業損失(△)	△498,101	△670,275
営業外収益		
受取利息及び配当金	521	229,138
受取賃貸料	831	692
保険解約益	53,100	—
匿名組合投資利益	38,366	59,643
その他	39,041	34,488
営業外収益合計	131,861	323,962
営業外費用		
支払利息	38,587	41,145
その他	21,466	6,889
営業外費用合計	60,053	48,034
経常損失(△)	△426,294	△394,348
特別利益		
子会社株式売却益	—	1,129,845
特別利益合計	—	1,129,845
特別損失		
固定資産除却損	115	41,362
その他	—	718
特別損失合計	115	42,080
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△426,409	693,416
法人税、住民税及び事業税	142,488	105,134
法人税等調整額	△308,656	△862,574
法人税等合計	△166,167	△757,440
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△260,242	1,450,856
少数株主利益又は少数株主損失(△)	61,758	△1,466
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△322,000	1,452,323

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△260,242	1,450,856
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,944	587
その他の包括利益合計	△1,944	587
四半期包括利益	△262,186	1,451,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△323,945	1,452,910
少数株主に係る四半期包括利益	61,758	△1,466

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△426,409	693,416
減価償却費	102,668	164,071
のれん償却額	94,222	97,914
貸倒引当金の増減額(△は減少)	137,286	△123,260
役員退職慰勞引当金の増減額(△は減少)	△54,668	△101,399
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△28,470	△14,045
受取利息及び受取配当金	△521	△229,138
支払利息	38,587	41,145
子会社株式売却損益(△は益)	—	△1,129,845
保険解約損益(△は益)	△53,100	—
匿名組合投資損益(△は益)	△38,366	△59,643
固定資産除却損	115	34,511
売上債権の増減額(△は増加)	△559,548	△862,632
たな卸資産の増減額(△は増加)	△219,251	△79,146
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,433	△54,526
その他	370,866	1,630,689
小計	△668,023	8,110
利息及び配当金の受取額	692	226,095
利息の支払額	△36,162	△43,426
法人税等の支払額	△78,708	△500,937
法人税等の還付額	95,833	2,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	△686,369	△307,980
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△12,018	△13,308
定期預金の払戻による収入	64,974	196,606
有形固定資産の取得による支出	△181,765	△378,383
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△234,705	△683,324
子会社株式の取得による支出	△9,608	△393,722
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	2,003,127
事業譲受による支出	△178,663	△190,400
出資金の回収による収入	51,500	11,268
敷金の差入による支出	△80,295	△93,017
差入保証金の回収による収入	12,991	5,124
保険積立金の解約による収入	132,503	—
貸付けによる支出	—	△1,033,000
貸付金の回収による収入	399	7,364
その他	2,345	△47,176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△432,343	△608,840

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△140,383	230,611
長期借入れによる収入	900,000	1,798,456
長期借入金の返済による支出	△881,460	△1,307,212
社債の発行による収入	442,437	98,590
社債の償還による支出	△73,700	△214,200
配当金の支払額	△72,327	△41,563
少数株主への配当金の支払額	△6,284	△14,658
少数株主からの払込みによる収入	—	135,800
その他	△15,621	△41,939
財務活動によるキャッシュ・フロー	152,659	643,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,284	3,753
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△971,337	△269,182
現金及び現金同等物の期首残高	2,342,543	2,012,547
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,046	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,443,251	1,743,364

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	美容・健康 関連	食品関連	アパレル 関連	住関連ライ フスタイル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,425,877	1,193,435	1,051,725	—	8,671,038	—	8,671,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	11,799	—	—	11,799	△11,799	—
計	6,425,877	1,205,234	1,051,725	—	8,682,837	△11,799	8,671,038
セグメント利益 又は損失(△)	△441,198	62,757	50,442	—	△327,998	△170,103	△498,101

(注) 1 セグメント間取引消去又は各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「美容・健康関連」及び「アパレル関連」セグメントにおいて、株式会社エンジェリーベ及びエムシーツーオフィス株式会社の企業結合に伴い、第1四半期連結累計期間にのれんがそれぞれ171,725千円、114,425千円発生しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	美容・健康 関連	食品関連 (注) 3	アパレル 関連	住関連ライ フスタイル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,065,165	1,175,868	916,882	—	9,157,916	—	9,157,916
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,760	5,993	—	—	15,754	△15,754	—
計	7,074,925	1,181,862	916,882	—	9,173,670	△15,754	9,157,916
セグメント利益 又は損失(△)	△459,758	91,205	△167,748	—	△536,301	△133,974	△670,275

(注) 1 セグメント間取引消去又は各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 食品関連事業は平成25年8月までの実績を記載しております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社アイデアインターナショナルの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「住関連ライフスタイル事業」のセグメント資産が2,988,225千円増加しております。

(子会社の減少による資産の著しい減少)

当第2四半期連結会計期間において、「食品関連事業」を構成していた株式会社弘乳舎の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「食品関連事業」のセグメント資産が、2,924,572千円減少しております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間より、株式会社アイデアインターナショナルが連結子会社となったこと及び株式会社弘乳舎が連結子会社でなくなったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の報告セグメント「美容・健康関連事業」「食品関連事業」「アパレル関連事業」から「美容・健康関連事業」「アパレル関連事業」「住関連ライフスタイル事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アパレル関連事業」及び「住関連ライフスタイル事業」セグメントにおいて、株式会社馬里邑及び株式会社アイデアインターナショナルの企業結合に伴い、第2四半期連結累計期間にのれんがそれぞれ124,039千円、663,575千円発生しております。

また、「食品関連事業」セグメントにおいて、株式会社弘乳舎の全株式の売却に伴い、第2四半期連結累計期間にのれんが389,837千円減少しております。

(重要な後発事象)

## I 子会社間の吸収合併

当社の連結子会社である株式会社イデアインターナショナルが現在イタリア共和国において製造しているオーガニック化粧品の生産工程の一部を日本リレント化粧品株式会社の有する自社工場に移管し、化粧品製造のための人材及びインフラを活用することにより、イデアインターナショナルでの生産リードタイムの短縮、在庫数量及びコストの削減、財務負担の軽減等のシナジーが実現できるものと考えられ、本合併は両社事業のリソースの連携をより強固に図るために必要であると判断し、同日付で両社は合併契約書を締結いたしました。

合併契約の概要は、次のとおりであります。

### (1) 合併の方法

株式会社イデアインターナショナルを存続会社、日本リレント化粧品株式会社を消滅会社とする吸収合併方式で、日本リレント化粧品株式会社は解散します。

### (2) 吸収合併に係る割当ての内容

日本リレント化粧品株式会社の株式1株に対して、株式会社イデアインターナショナルの普通株式2,445株(合計489,000株)を交付します。

### (3) 吸収合併に係る割当ての内容の算定根拠

本合併に用いられる合併比率の算定に関して、当社グループから独立した第三者機関が分析した企業価値評価等を総合的に勘案の上、決定いたしました。

### (4) 合併の期日

平成26年2月1日(予定)

### (5) 引継資産・負債の状況

株式会社イデアインターナショナルは、平成25年9月30日現在の日本リレント化粧品株式会社の貸借対照表その他同日現在の計算を基礎とし、これに合併に至るまでの増減を加除した一切の資産、負債及び権利義務を合併期日において引継ぎいたします。

資産	金額(百万円)	負債	金額(百万円)
流動資産	160	流動負債	83
固定資産	9	固定負債	38
資産合計	170	負債合計	122

### (6) 吸収合併存続会社となる会社の概要

商号	株式会社イデアインターナショナル
本店の所在地	東京都港区芝五丁目13番18号 いちご三田ビル3階
代表者の氏名	代表取締役社長 橋本 雅治
資本金の額	604百万円
事業の内容	住関連ライフスタイル商品の企画・開発及び販売、化粧品の製造・販売、医薬部外品の製造・販売等